

第2回西側エリア検討会（鶴川駅南口街づくり検討会）会議要旨

日 時：2015年6月27日（土）午前10時～正午

場 所：和光大学ポプリホール鶴川 3階リハーサル室

出席者：12名（地権者：9名／その他：3名）※街歩き参加者：8名

町田市：望月担当課長、加藤係長、秋葉主事、船岡主事

パシフィックコンサルタンツ株式会社：桑山、村井、渡辺、近藤

【次第】

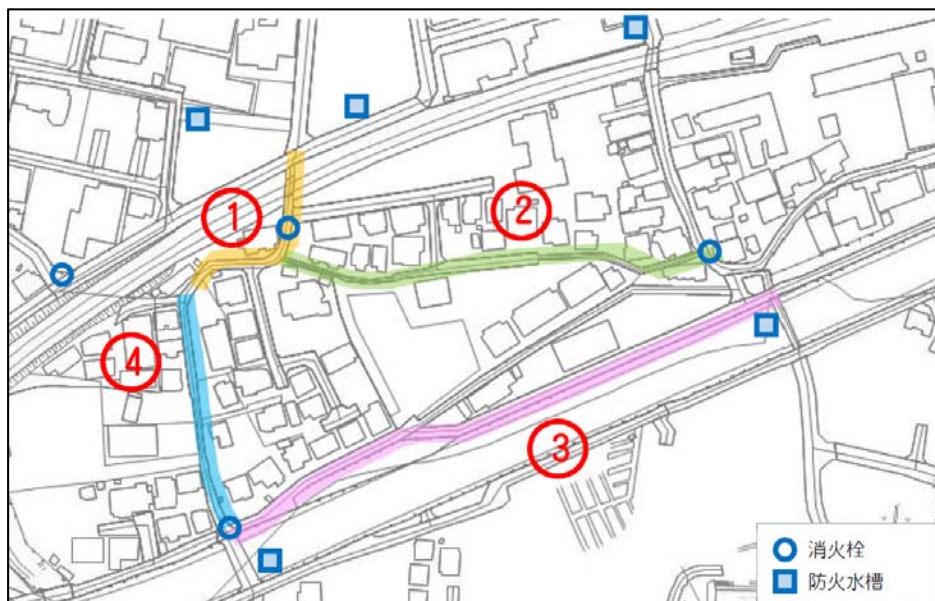
1. 街歩きの進め方
2. 街歩き
3. 街づくりの将来像
4. 評価結果と意見交換

【決定事項】

- ・道路を広げるだけでなく、車両が通行しにくい工夫などを検討する。
- ・歩行者と車の動線を考えて道路の計画をする。

【議事】

1. 街歩きの進め方
○資料に基づき、街歩きのルート、街歩きの視点及びポイントの説明をしました。
2. 街歩き
○ルートに従い、ポイントごとに道路の幅員を計り、消火栓の位置などをチェックしながら歩きました。



※ □ 橋梁付近の防火水槽とは、河川からくみ上げるものです。

図 街歩きの経路図

① 2号踏切周辺道路

○幅員の確認

- ・ 3 m程度の幅員のため、車一台通るのがやっとである。
- ・ 踏切が閉まっていると渋滞する傾向がある。

○通行の安全性

- ・ 車が通る時は、避けて待っていないといけない。
- ・ 自転車やベビーカーなどは避けるのに大変そうだ。
- ・ 湾曲しているので見通しが悪い。

○周辺の環境や街並み

- ・ 緑は多いほうである。
- ・ ブロック塀の安全性はどうなのか。道路が狭いので車がよくこすっている。

② 主要生活道路 2 周辺

○幅員の確認

- ・ 一番狭いところは 1.2 m、広いところは 4 m である。
- ・ 人一人通るのがやっとである。
- ・ 雨の日は傘をさすため、すれ違いが困難である。

○通行の安全性

- ・ 緊急車両は通行不可である。
- ・ 市管轄の土地の雑草が歩行空間を邪魔している。
- ・ 曲がっている上に道幅が狭いので、見通しはかなり悪い。

○周辺の環境や街並み

- ・ 緑は多いが、手入れされていない箇所も多い

③ 鶴見川沿い道路周辺

○幅員の確認

- ・ ほぼ 4 m 以上ある
- ・ 歩行には問題ない。

○通行の安全性

- ・ 車両も途中までしか進入できないので、歩行は安全であるが、自転車と歩行者が入り混じっているので、危険な場面も多々ある。

○周辺の環境や街並み

- ・ 宅地の緑は多いほうである。

④ 大正橋～ 2 号踏切道路周辺

○幅員の確認

- ・ 4 m の箇所と 3 m に満たない箇所がある
- ・ 車のすれ違いは難しい。

○通行の安全性

- ・ 車両が相互通行のため、車両の退避場所が必要である。
- ・ 車両通行時、歩行者の退避場所が必要である。

- ・① 2号踏切周辺道路からの見通しが悪いので、安全性に問題がある。
- ・車両、歩行者、自転車と通行量はかなり多い。

○周辺の環境や街並み

- ・新しい住宅が多く建つ場所のため、幅員もある程度確保され全体的に統一感はある。

3. 街づくりの将来像

○資料に基づき説明をした。

- ・都市計画としてのあるべき姿について道路の段階構成を説明しました。
⇒都市計画道路<補助幹線道路<主要生活道路<生活道路
- ・戸建て住宅を中心とした住宅市街地と、緑を中心とした住宅地区について、それぞれ図を示して説明をしました。
- ・鶴川駅南口の現在の道路の状況、鶴川駅南口で必要な街づくりの例を図を示して説明をしました。
- ・街づくりのイメージとして、2号踏切周辺道路を4mに拡幅した際のイメージ、要生活道路2を4mに拡幅した際のイメージ、鶴見川沿いの道路に緑を増やしポケットパークを設置したイメージを図にして示しました。

4. 意見交換

下水道について

(市の考え) 先日6月22日(月)、203号線の道路拡幅と下水道に関する説明の中でも、南口の下水道整備については街づくりに合わせて整備していくということを伝えました。

踏切について

(意見) 2号踏切の拡幅についてお聞きしたい。

(市の考え) 小田急電鉄には拡幅の意向は伝えてある。南口エリアの道路計画の方向性が確定した後、具体的な協議を進める。

(意見) 現状でも踏切で渋滞が起きている。踏切拡幅は道路拡幅と同時が必須である。主要生活道路2については、今のままでよいとは思っていない。しかし、いきなり6mとして車が通るといのはどうなのか。

(市の考え) 踏切拡幅と道路の拡幅を同時というのは、まさにその通りである。道路幅員については、緊急車両の進入や駅前の利便性を考えると、6mは必要ではないかと考える。ただし、6mとしても、今の生活を害するような通行量にしないために、車が走りにくい工夫などは検討していきたい。

(意見) 2号踏切はぜひ広げていただきたい。現状車両は1台で、人は一緒に歩けない状態である。道路も狭いところは拡幅する必要があるが、6m道路は時間もかかるので、現実的には4mが妥当ではないか。また、そうした場合一方通行にして、時計回りにするのもよいのではないか。④の道路は4mあるが、相互交通は厳しい。途中で待避線を設置するのがよいのではないか。鶴見川沿いは学生の通行

量が多い。帰りの時間は人の流れが多いので今のままがよい。車を通すとなると危険である。

(市の考え) 一方通行も1つの方法であるが、どこで道路をつなげるかなど考える必要がある。また、4 mで果たして安全かという議論も必要ではないか。

5. 次回の予定

- ・人と車の動線を踏まえ、まちづくりの検討をする。
- ・次回は9月26日(土)の午後を予定している。
- ・東側エリアも同日なので、可能な方は両方に出ていただいてもよい。
- ・次回までに、意向調査及び個別ヒアリングを行う予定である。

以上